

平成28年熊本地震災害義援金の受付について

問 住民福祉課 社会福祉係 ☎62-9144

日本赤十字社富士見町分区では、平成28年4月14日に発生した、熊本地震災害により、被災された方々を支援する為、義援金の受付を行います。役場1階町民ホールに募金箱を設置しているほか、社会福祉係で受付をします。※義援金は被災地に設置される災害義援金配分委員会を通じて、全額被災者へ配分されます。

【受付期間：平成28年4月18日～平成28年6月30日】

東日本大震災義援金の受付も平成29年3月31日まで延長され、引き続き受付しています。今後とも皆さまの温かいご支援をお願いします。

また、5月は赤十字創立の月にあたることから「赤十字運動月間」とされ、この月間を中心に、区の方々の協力のもと、赤十字活動資金（社資）の募集活動を行っています。赤十字の活動は皆さまからお寄せいただく活動資金によって支えられています。今後とも皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いします。

災害義援金のお礼と報告

平成27年度に実施した災害義援金・救援金の募集については、多くの方々にご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。お寄せいただいた義援金・救援金は、全額、日本赤十字社長野県支部へ送金いたしました。

【お寄せいただいた義援金】

・ネパール地震救援金	9,321円
・長野県神城断層地震災害義援金	64,716円
・東日本大震災義援金 （平成27年度受付分）	22,070円
（平成23年からの受付総額）	16,214,542円）



5月6日から結核検診(胸部レントゲン撮影)が始まります

問 住民福祉課 保健予防係 ☎62-9134

今年は御柱年で忙しい中ですが、例年通り各地区を回りますので、早期発見・早期治療のために年1回は結核検診（胸部レントゲン撮影）を受けましょう。

結核ってどんな病気？

◎結核は「現代の病気」です

50年前まで、結核は年間死者数が10数万人に及び、死亡原因の第1位となっていた病気でした。医療や生活水準が向上した今でも、年間2万人の新規患者が発生しています。その数は1日に56人の新しい患者が発生し、6人が命を落とす重大な感染症です。人々の関心の低下や治療薬が効かない多剤耐性結核など新しいタイプの結核も出てきており、世界的に見ても日本は依然として高い罹患率となっています。

◎結核はどう感染するの？

せきやくしゃみで「空気感染」する病気です。

結核は、「結核菌」という細菌が体の中に入り込み、主に肺に炎症を起こす病気です。重症の結核患者がくしゃみやせきをしたときに結核菌が飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことにより感染します。

結核の初期症状はカゼとよく似ています。以下の症状があるときは早めに受診しましょう。

- せきが2週間以上続く
- たんが出る
- 微熱が2週間以上続く
- 体がだるい
- 胸痛
- 体重減少

